



志津南

4月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (2/28 現在)
世帯数 2,520 総人口 6,680 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyuu.jp

新年度体制に向けた審議を行う理事会



まち協・センター新体制へ 次年度に向け準備進める

志津南学区まちづくり協議会(高田憲一会長)は3月4日、第7回理事会を開催し、次年度に向けての体制を整えるための審議が行われました。

4月16日に予定されている「令和5年度定時総会」に向け、議案書(案)の審議を行いました。この審議をもとに修正を加え、3月25日の新旧合同理事会を経て、最終議案書を仕上げることとなります。

今年度の活動結果として、コロナ禍の影響で中止や自粛が相次ぎましたが、学区全体で環境美化活動への支援を強化する動きや、子どもフェスタ」の試行開催(10月)など、次年度以降へ繋がる活動ができたことを確認しました。

活動計画には、「新5カ年まちづくり行動計画」に謳ったIT化・ネットワーク化の推進などの「新たな取り組み」、地域福祉の充実や青少年の健全育成の活性化などの「従来取り組みの補強」の2点について、初年度に取り組み内容を盛り込んでいくこととなります。

また、令和5年度の委嘱案件を2件審議し、いずれも承認されました。

▽西田洋さん(令和4年度理事・若草八丁町内会長)にまちづくり協議会の「顧問」(会長の諮問役)を委嘱。

▽妹尾志郎さん(現まちづくり協議会事務局長・まちづくりセンター長)にまちづくり協議会事務局の「相談役」を委嘱。

なお、妹尾志郎さんは、3月末をもって、まち協事務局長・センター長の職を退任、同時にセンター職員も退任されることになりました。長きに亘り、志津南学区のまちづくりを支えていただいたことに心からの感謝を申しあげます。

4月以降、まちづくり協議会事務局およびセンターの運営は新しい体制に移行します。新会長をはじめ新役員、職員一同、学区全体のまちづくりに全力で取り組んでいきますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年度 センター職員異動

志津南まちづくりセンターでは3月31日付けで、10年間事務局長(センター長)として地域の皆さんに親しまれてきた妹尾志郎さんが退職されました。後任には長谷川佳子さんが事務局長(センター長)に就任されました。

また、金馬礼司さんが臨時職員として赴任されました。

4月1日より新体制で、地域の皆さんに愛され親しんでいただけるまちづくりセンターを目指し、心新たに取り組んで参ります。

地域の皆さま方には従前以上にご指導、ご鞭撻いただきますようよろしくお願いいたします。

表彰状を授与される入賞者



あいさつ運動 動啓発作品

ちよっぴり緊張の表彰式

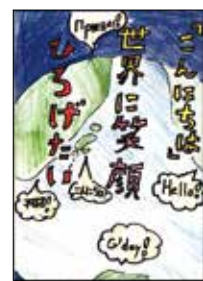
応募総数889点の内、最優秀賞1点、特別賞1点、優秀賞6点、入賞8点、学区代表賞(草津市表彰作品)5点を選び、表彰式に参加した14人に表彰状と副賞が授与されました。

受賞者の緊張した表情と喜びの笑顔が印象的でした。会場には受賞作品が掲示されましたが、いずれも元氣なあいさつを感じさせる素晴らしい作品でした。

応募総数が年々増え、選考など準備が大変ですが、志津南学区があいさつと笑顔あふれるまちになるよう、この活動を続けていけたらと思っています。



草津市から表彰された作品
(右) 石津咲和さん
(左) 山川愛莉さん



▽最優秀賞 宮本結愛(中2)

▽特別賞 掲載希望せず
▽優秀賞 田村南帆(小2)、藤崎佳子(小2)、横井志道(中1)、泉本真大(小1)、田中聖菜(小6)、岩本千空(小6)
▽入賞 宮崎蒼(中1)、服部峻也(小3)、松原暖真(小3)、新谷美結(小2)、川手俊和(小2)、廣田進一郎(小4)、櫻井陽菜(小4)、他1名
▽学区代表賞 石津咲和(小6)、山川愛莉(中3)、小原細(小2)、向井美彩希(小6)、藤原恵菜(中1)
尚、草津市全体の選考で、石津咲和さんの作品が特選、山川愛莉さんは特別賞に選ばれ、昨年11月27日に行われた「草津市青少年育成大会」で表彰されました。

おめでとうございます。

考えて行動する南っ子たち

志津南小学校(山田容子校長)の児童たちは、自ら考えて様々な活動に自発的に取り組んでいます。

ゴミ拾いウォーク

六年生が卒業前の2月27、28日の二日間、自発的に地域のごみ拾いを行いました。

志津南小学校は、総合的な学習の時間に、SDGsの目標の一つ「住み続けられるまちづくりを」を全校のテーマとし、「自分たちから発信」を大切にしたい学びをしています。

2月の初め頃、六年児童から「登下校の道にたくさんのごみが落ちているのが気になります。みんなでごみ拾いをしてほしいです。」



20 kgのごみを持ち帰った六年生

早速、発起人の児童たちが相談して各クラスに説明に向くと、「みんなのために町をきれいにしたい」「おに町をきれいにしたい」と答へ、励ましました。

早速、発起人の児童たちが相談して各クラスに説明に向くと、「みんなのために町をきれいにしたい」「おに町をきれいにしたい」と答へ、励ましました。

追分南臨時総会 賛成多数で議案可決



追分南町内会(高田篤司会長)は3月5日、追分南町内会館で臨時総会を開催しました。写真。

今回の臨時総会は定時総会を迎えるための町内会則の一部変更と物品購入のための開催で、賛成多数で可決されました。

定時総会は4月23日(日)午前9時半より、追分南町内会館で開催予定です。

世話になっている地域の人に恩返しをしたい」と良い返事が返ってきたそうです。そして、2月下旬の春を思わせる陽気の中、学級活動の時間に、六年生4クラスが、二日間、四か所に分かれて、学区内のごみ拾いに出かけました。

かがやき通りの両側の歩道、若草の二つの公園、北門から歩道橋、コンビ二エンスストアの周りなど、目を凝らしながらごみを拾っていきました。燃えるゴミや空き缶等、全部で20kgのごみを持ち帰ってきました。

子どもたちは、「きれいにできて嬉し、もう、ごみを捨ててほしくないなあ」といきました。

卒業おめでとう 五年生が中心となって、2月27日からの一週間を「六年生を送る週間」として取り組みました。

お昼の放送を「お祝い放送」として取り組みました。



「今まであまり気にかけてなかったけど、実はまちがすぐくよざれていることがよくわかったし、自分たちはごみを捨てない」と話していました。

子どもたちの気づきから始まった今回の活動は、卒業を前にした子どもたちが登下校や校庭の整備等、これまでお世話になってきた地域の方々への感謝の気持ちと、自分たちも役に立ちたいという気持ちを行動に表したものです。

これからも子どもたちと地域の皆さんと一緒に頑張って「住み続けたいまち」を作っていきたいと思えます。

(校長 山田容子)

送として、各クラスで作った「六年生へ送るメッセージ動画」や「六年生担任の先生インタビュー」等を、放送しました。

3月3日の二・三時間目には「六年生を送る会」を行いました。今年度は、コロナの拡大防止を考慮して、六年生が集まっている体育館に、各学年ごとに行き、自分たちの学年の発表を直接見てもらう形で実施しました。他学年の発表を通して、六年生は、楽しんで、懐かしんだり、心地よい時間を過ごすこと

ことができました。小学校での数々の思い出を胸に、六年生一人ひとりが、中学校でも自分らしく輝いてくれることを祈っています。

楽しかった昔遊び

一年生児童が1月27日、地域の方々と一緒に、昔遊びを楽しみました。写真。

20人近くの地域の方に来ていただき、こま回し、けん玉、お手玉の三種の遊びを教してもらいました。



「絆」地域福祉実践地研修を実施

場所づくりにますます力を入れています。その活動の一環として、2月10日にふれあいハウス「絆」のボランティアスタッフが23人が研修のため、湖南市北山台第2自治会館「ひまわり」を訪問しました。

「ひまわり」は「みんなが気軽に使える空間づくり・世代を越えて気軽に集えるサロン・北山台の文化発信拠点」をコンセプトに10年前発足した施設です。広い駐車場、身障者や高齢者をはじめだれにも優しい長いスロープも完備。太い柱をめぐらした吹き抜けの広々とした館内は段

差して見ながら、教えてもらっていました。はじめは、こまを回せなかったけど、教えてもらったようにになりました。お手玉を簡単にしている姿を見て、すごいなと思えました。子どもと大人が共に学ぶことができた貴重な時間となりました。

「ひまわり」が展開中の飲食サービス「サポート隊」のボランティア10人(女性7人・男性3人)と交流しましたが、喫茶運営はもちろん、土曜日にはうどんも提供、子どもたちが集まりにぎわうか。

12年目に入った「絆」とは開催日・料金・日時、イベント、多世代交流等々、取り組み内容に共通点多々あり、和やかに話も弾み、見習う点などヒントを得ることができて、有意義な研修となりました。



「ひまわり」で説明を聞く絆スタッフ



皆で考える「まち」の課題

学習した内容を発表する中学生



が総合的な学習の時間に行っており、その中の「開発」をテーマに学習を進めている生徒22人が参加し、地域の方と交流しました。

生徒側からは、これまでの学習概要と、考えた学区内での課題を発表

高穂中学校(作田まさ代校長) 1年生が3月24日、志津南まちづくりセンターで「ふるさと学習」の一環で座談会を行いました。ふるさと学習は、同校1年生



草月流 生け花サークル花いちもんめです。稽古で生けた作品とともに、花材や生け花について紹介していきます。どうぞよろしくお願ひします。



花材

コデマリ、チュウリップ、ワックスフラワー、ヒメユウカリ、アルテミシア

友愛訪問で元氣もらう



くして欲しいという要望が出ました。学区在住の舟木要一さんから、通学路の安全確保のために「志津南環境美化ボランティアの会」が、かがやき通りの草木の剪定を行っていること、調整池の草

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)

作品のコデマリはまだ花が蕾ですが、これから徐々に開花していきます。どんなふうにかいていくのか想像しながら生けるのもまた楽しいです。時間の経過とともに作品が変化し、生けた後もいろいろな表情を楽しむことができます。

これからの季節、色とりどりの花が咲き始め春を実感します。気持ちも華やか何だかワクワクします。(花いちもんめ)

を刈り芝桜を植えていることなどを聞きました。生徒たちが自分たちの住む地域に関心を持ち、環境保全のために尽力していただいている人たちのことを知ったことが、大きな学びになりました。

は2月上旬、友愛訪問を実施しました。学区社協との共催事業で、自宅を過ごしている85歳以上144人の高齢者に、さ

6年生との楽しい時間



巨大オセロに大盛り上がり フォレストローズ子ども会(梅江優代表は3月12日、追分南会館で「6年生を送る会」を開催しました。4年生・6年生の21人が集まり、6年生と最後の楽しい時間を過ごしました。6年生からは学校生活に関する〇×クイズを出題してもらいました。まだ経験していない修学旅行や委員

この話などを聞くことができ、4、5年生は興味津々。巨大オセロは1試合5分間という短い制限時間の中で競いました。ルールは通常のオセロと同じですが、大きなオセロに大盛り上がり。最後に行ったペーパータワーは、コピー用紙30枚を使ってどれだけ高く積めるか競うゲームです。各チーム知恵を出し合いながら挑戦しました。とにかく早く高く作るチーム、倒れないように安定重視で作りに上げるチームなど様々なアイデアが飛び交い、学年の枠を超えて協力し合う姿はと

今月の志津南文庫

「志津南文庫」は、志津南まちづくりセンターサロンの一角を利用し、地域住民の方に、図書館まで出掛けなくても、図書館でお借りした図書を(100冊程ですが)、貸し出すコーナーです。

今年度も、このコーナーで本の紹介をしたいと思っています。他にもおすすめ本や、読んでみたい本があれば、センター職員までお声掛けください。センターに来られた時は、サロンの「志津南文庫」コーナーを覗いてみてください。

4月は年度初めの関係上、「志津南文庫」に図書を置かせていただくのが、4月中頃になります。

版画で卒業制作



集まり楽しむ姿を見られる日が来ることを願います。子育てサークル若草おやこっこクラブ(山出聡子代表)が3月2日、志津南まちづくりセンターでお別れ会を開催し、6組の親子が参加しました。写真。始まりの歌を歌った後はお返事タイム。4月は手を挙げるだけだったり、お母さん

さんがお返事したり。でもこの日は自信に満ちた顔で「はい」とお返事してくる姿が見られました。そして卒業制作に版画をしました。画用紙を切って重ねて貼り、ローラーでコロコロ。真っ黒の台紙に紙をベタリ。はがしてみると世界に一つのステキな作品ができ上がりました。版画が乾く間に、民生委員の方に大きな絵本を読んでもらいました。いつもよりとても大きな絵本にみんなくぎ付け。楽しい時間を過ごすことができました。春から新しい世界に羽ばたく子どもたちの成長と笑顔がたくさん見られたお別れ会となりました。

笑いの中で交通安全学ぶ

高齢者の交通安全について学ぶ学級生



志津南まちづくりセンターは2月22日、第9回やすらぎ学級で「交通安全講習会」を実施しました。草津・栗東交通安全協会 志津南支部(佐々木奉昭代

表)の企画協力により、DVD「高齢者の交通安全」を鑑賞した後、講師の滋賀県警察本部交通企画課ふれあいチームの奥村裕子さん、山本敦子さんによる寸劇を交えた話で交通安全について楽しく学びました。

寸劇の中には、高齢で親しみやすい「吉永小百合」さんも登場。「かもしれない」の危険性と「自分の身は自分で守る(反射グッズの利用・明るい服装など)」について、笑いの中で確認しました。

4月からは道路交通法改正により自転車のヘルメット着用が努力義務になり、重大事故につながる自転車事故が増えており、高齢者の場合、特にヘルメットが命を守ることを再認識しました。

R5年度学級生募集

志津南まちづくりセンターでは、次の要領で令和5年度「やすらぎ学級」の受講生を募集します。

- ▽対象 草津市在住の60歳以上の方
- ▽開催日 5月から翌年3月までの第3又は第4水曜全10回(8月は夏休み)
- ▽活動時間 午後1時30分から3時

講座終了後のサークル活動(年4回)は4時ごろまで

- ▽会場 志津南まちづくりセンター
- ▽参加費 千円
- ※講座によって一部個人負担があります
- ▽申し込み 4月3日(月)から随時受け付け
- ▽問い合わせ 志津南まちづくりセンター 電話(563)6206

内容は、健康を目的とした学びや体操体験、音楽鑑賞、教養講座などに加え、今年は館外研修へも出かける予定です。「川柳サークル」「脳トレサークル」も引き続き活動します。

多数のお申し込みをお待ちしています。

らお申し込みください。

- ▽実施日時 5月27日(土) 9時~12時
- ▽行き先 桐生キャンパス(若人の広場)
- ▽参加費 100円(保険代)
- ▽募集期間 5月10日(水)



私の心の遺産

お陰様で元気に歩んできた人生を振り返りながら、改めて心の思いをつままを「わたがし」として書いてみようと思います。

5月20日(土)

- ▽申し込み先 志津南まちづくりセンター
- 詳細は5月の回覧をご覧ください。
- 多数のご参加をお待ちしています。

パソコンの駅

- ▽パソコンについての相談 4月25日(火) 5月25日(木) 13時~16時
- ▽センターサロン 地域内困りごと相談窓口を兼ねています。

けての雲海の中、朝日に照らされ幻想的なありようは有名で、脚光を浴び、多くの城ファンを魅了しています。

鎌倉時代に築城された「松山城」は、城主が何代も交代したらしいが、備中の要衝としての役割を担っています。

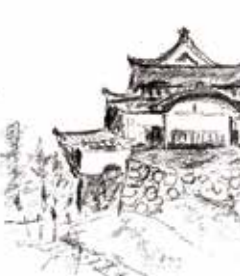
明治、大正、昭和と時は流れ、荒れ果て崩壊寸前だったお城の保存運動が起こり、地元の中学生、女学生が2万枚の瓦を背負って山頂まで担いで上がったというエピソードが残っています。

しかし、第2次世界大戦での敗戦から、激動の時代はお城どころではありませんでした。

昭和32年9月、国費をもって修理し、お城は往時の姿を取り戻すことが出来ました。

一時でもお城が実家の所有物であったことの驚きと誇らしさが、心の遺産として深く残っています。

(松本孝子)



松山城天守閣(筆者画)



3月1日、若草文庫のひなまつり。元気に遊ぶ子ども達を、お雛様が温かく見守っていました。

史跡 受講生募集

志津南まちづくりセンターは、令和5年度の「史跡探訪」の受講生を次の要領で募集します。

今年度のテーマは「どうする家康 京・近江編」と題し、館外3回ミニ講座2回の計5回で実施します。

- ▽内容
- ①5月17日(水) 姉川(国友鉄砲館他) 関ヶ原古戦場他
- ②6月28日(水) センターでミニ講座

③8月2日(水) 將軍塚・南禅寺金地院、知恩院(二条城)

④10月16日(月) センターでミニ講座

⑤11月22日(水) 京田辺・神君伊賀越えをしのぶ

▽定員 先着25人

▽受講料 全5回2000円(館外保険代含む)

▽申し込み 4月10日(月) 9時~ 志津南まちづくりセンター窓口へ受講料を添えてお申し込みください。

定員になり次第締め切り

※別途、昼食代及び入館料等は実費負担です。

※やむを得ない理由で場所日時等、変更する場合があります。

参加希望者は、5月の受け付け開始日になりました

ウオーキング 参加者募集

志津南学区健康推進員連絡協議会(千金葉晃子代表)は、次の要領で「春の健推はつらつウオーキング」を実施します。

参加希望者は、5月の受け付け開始日になりました

まず一つ、誇らしく思い出される「私の心の遺産」そんなお話を紹介します。

それは「七圓也でお城を買った呉服商」のお話です。

そのお城は岡山県高梁市の北端にそびえる臥牛山(がぎゅうざん)、標高480メートルの頂上に建つ備中「松山城」です。松山城は、天守閣が現存する山城であり、晩秋から春の早朝にか

たようです。ところが明治6年に廃城令が下され、競売入札で私の実家が「七圓也」で落札しました。この入札は地元愛のボランティア的な意識だったと思います。

当時、実家は呉服商「帯